

赤ちゃん連れ歓迎の居場所 いくたのわ



#ふらっと立ち寄る
#生田出張所3階多目的スペース
#キッズコーナー
#生田のまちで行き交う集う

想い

「赤ちゃん連れでふらっと行ける場所がほしかった」 自身の経験から地域に必要な居場所をつくる

育児から感じた居場所の必要性

経緯 多摩区役所生田出張所3階にある多目的スペースを活用した居場所づくりを始めたのは、三田在住で理学療法士の小津(おづ)さんです。二児の母として、育休中に近くの『すくすくひろば※1にしきがおか』に親子で通うことが多かったのですが、週3日午前しか開所しておらず、自宅以外で子どもと過ごせる場所が少ないと感じていたそうです。自身の経験から子連れ親子の居場所の必要性を感じたことから、近所にある行きつけのパンとコーヒーのお店『PianoPiano(ぴあ〜のぴあ〜)※2』に相談。関係者の協力もあり、公共施設内のスペースを会場とした“いくたのわ”の開催にこぎつけました。



参加親子が楽しく交流

記念すべき初回の様子は

雰囲気 取材した令和8(2026)年1月の初回には6組の親子が来場。主旨に賛同した関係者がわらべ歌を教えて一緒に歌ったり、絵本の読み聞かせたりと和やかな雰囲気でした。少し離れたテーブルでは仕事や勉強をする人の姿も。あるママは「静かに利用している人がいるとこれまでは子どもを連れてきづらかった。場を設けてもらって居心地がいい」と話していました。小津さんは「主催者ながら誰よりもその場を楽しめた。他の誰かにとってもそんな場所になるよう続けていきたいです」と話します。



@HYAN_SUN_ANTHOS

point

1 誰でもOK=独占はNG 空間を共有する雰囲気の醸成を

平日8時30分から17時まで誰でも利用できる多目的スペース※3。裏を返せば空間を占有することはできません。「目的は様々に同じ空間を共にする場面が増えたら親子1組でも過ごしやすい場所になる」と思い、小津さんはここを会場に決めたそうです。

2 ハードもソフトも充実 誰かの“くらしの続きに”

建物内にはおむつ替え台や授乳室、調乳ポットが完備。お茶菓子の用意もあり、理学療法士の小津さんにからだのことも気軽にお話できます。駅からのアクセスも良く、老若男女どなたが立ち寄っても居心地がいい空間になっています。

info

※1 “すくすくひろば” (地域子育て支援センター) の概要は二次元コードへ
※2 障害者の就労継続支援B型事業所として運営されています
※3 生田出張所の利用については二次元コードへ



発行年月 令和8(2026)年4月

発行元 多摩区役所地域ケア推進課